

## 第38回 高知県学校 医・歯・薬・保健 研究大会 ～学校における事故とその予防について～

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）では、担当地域（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）の各教育委員会・学校（園）・関係機関（以下「関係機関等」という。）と連携し、関係機関等が主催する講習会等で、事故防止のための情報提供や災害共済給付制度の説明を実施しております。

講習会等において、JSCが作成した事故防止に資する資料の活用方法を幅広く周知し、資料の活用促進を図ることで、学校の管理下における事故防止の支援や、円滑な学校教育の実施に積極的に貢献していきたいと考えております。

令和4年8月7日（日）、高知県の総合あんしんセンターにおいて「第38回高知県学校 医・歯・薬・保健 研究大会」（以下、「研究大会」という。）が開催されました。

高知県医師会からの依頼を受け、研究大会の中で、“学校における事故とその予防について～学校での事故を減らすために～”と題し、特別講演を行いました。



大会の様子1

### 【高知県学校 医・歯・薬・保健 研究大会】

今年で38回目となる本研究大会の趣旨は、「学校医・学校歯科医、学校薬剤師等、学校関係者が一堂に会し、課題解決のために研究協議を行い、学校保健・安全の更なる発展に寄与する」とし、テーマごとに実践発表や各会発表、講演等を行っています。

第38回は、「児童・生徒の問題が時代とともに変遷している中で、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、学校及び家庭での生活環境が激変し、生活習慣の乱れ、メディ

ア機器の家庭内への浸透が著しく、実体験やコミュニケーション不足、不登校・いじめといったメンタルヘルスに関すること、児童虐待、ヤングケアラーなどの問題がある。さらに、学習指導要領にがん教育が取り上げられ、健康問題が多様化し、学校・家庭・地域社会が連携して社会全体で子どもの健康づくりに取り組む必要がある」とのことから、メインテーマは「ニューノーマル時代を力強く生きる力を育てる」としています（第38回高知県 医・歯・薬・保健 研究大会 大会誌より抜粋）。

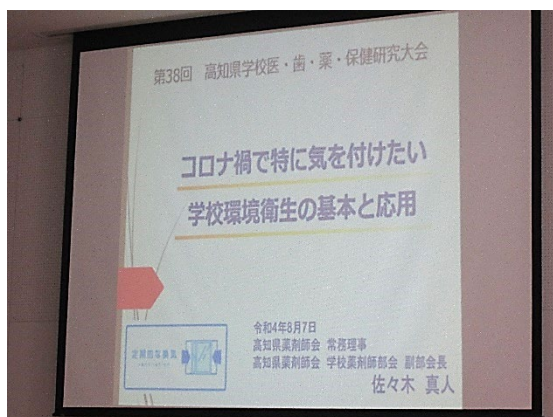
### 【研修会の内容】

開会行事、学校保健表彰の後、各会の発表が行われました。

まず、高知県教育委員会保健体育課による「高知県における児童生徒のメディア機器利用状況について」の調査報告、次に、四万十市立中村中学校、高知県立中村中学校による「中学生の基本的生活習慣について～自己コントロール力をつけるために～」の実践発表が行われました。

続いて、高知県薬剤師会より「コロナ禍で特に気を付けたい学校環境衛生の基本と応用」、高知県歯科医師会より「「ケガ」で歯が抜けてしまったら！」の発表が行われました。

いずれも、学校の管理下の事故防止や発生時の迅速で適切な対応につながる発表で、学校現場でもすぐに活用、実践できる内容でした。



大会の様子2

### 【学校における事故とその予防について～学校での事故を減らすために～】

JSCは、災害共済給付業務、高知県の災害の状況、学校安全支援業務についてスライドを投影して説明をしました。

#### 1. 災害共済給付業務

災害共済給付制度の概要と、令和3年度の全国の加入、給付状況（医療費、障害見舞金または死亡見舞金）について説明をしました。

令和3年度の加入者数は全国学校・保育所等で約1,605万人、その加入率は95.0%、令和3年度の単年度給付実績は、災害発生件数は約84万件、それに対しての給付金額は約

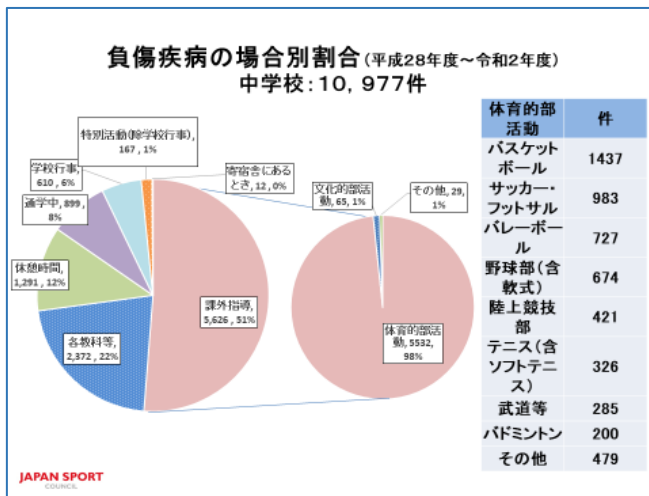
156億円です。

## 2. 高知県の災害の状況

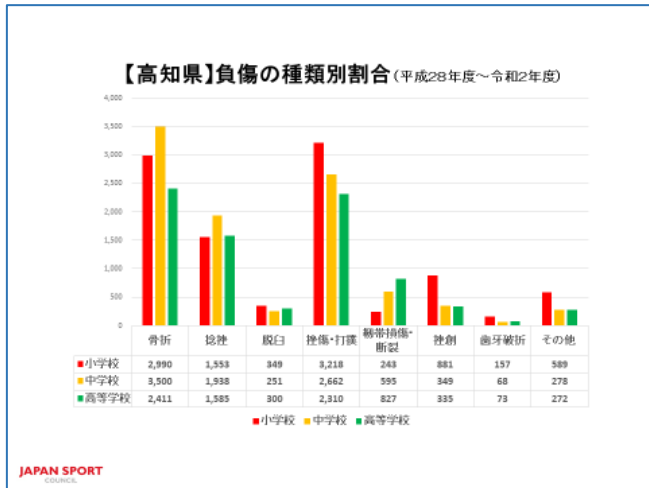
過去5年間の災害共済給付業務で蓄積されたデータから、高知県の小・中・高等学校それぞれの災害の傾向について紹介しました。

小学校は「休憩時間」に最も多く事故が発生し、全体の約57%を占めています。負傷の種類別では、「挫傷・打撲」が最も多く、次いで「骨折」でした。

中学校、高等学校はともに、「課外指導」での事故が最も多く、そのほとんどが「体育的部活動」によるもので、球技での事故が上位を占めています。負傷の種類別割合で最も多いのは「骨折」でした。



高知県の災害の状況：負傷疾病の場合別割合（中学校）



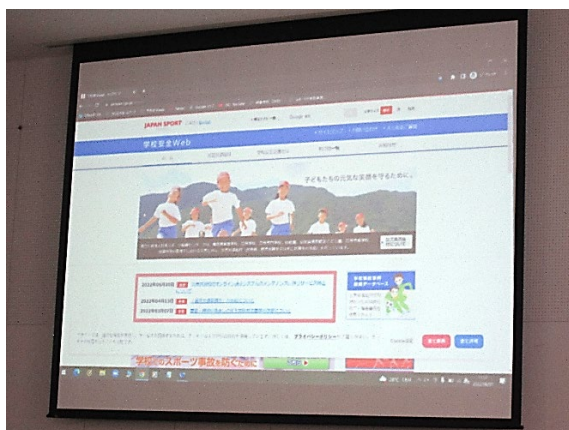
高知県の災害の状況：負傷の種類別割合

## 3. 学校安全支援業務

学校安全支援業務の概要説明とホームページ「学校安全Web」の紹介をしました。学校安全支援業務は、事故災害を未然に防止するという観点から、安全教育、安全管理の普及に関する業務や学校における児童生徒等の健康の保持増進に関する調査研究、資料の収集、提供に関する業務を実施しています。

「学校安全Web」の紹介では、実際にインターネット接続し、検索バーに「学校安全Web」と入力して検索するところから始めて、ホーム画面の各アイコンをクリックして、そこから得られる事故防止の情報について、利用方法なども併せて説明をしながら見ていただきました。

また、「高知県の災害の状況」の中で発生割合が多かった休憩時間中の事故防止、課外指導中の事故防止、骨折の事故防止等を紹介しました。



「学校安全Web」のトップページをスクリーンに映している様子

### 【研究大会を終えて】

大会終了後、各会の先生方から感想を頂きました。

医師会の先生からは、「『運命の5分間 その時あなたは～突然死を防ぐために～』のDVDが大変参考になった。せっかくだが資料があるので、大いに活用してほしい。」「多くの事故防止の情報が得られるHPをもっと知ってもらえるように、設置者、学校等への郵送の機会にチラシを封入するなど、周知の機会を増やしたらよいと思います。」等、また、薬剤師会の先生からは「HPを実際に見ることができて、どのような情報がどこにあるかがよくわかりました。これから活用していきます。」等、貴重なご意見ご感想をいただきました。

以前JSCが行った事故防止の説明会を聴講した養護教諭からは「広く活用してもらえよう、周りの先生たちに周知しています。」と、嬉しいお声かけをいただきました。



### 【参考】

- ・ [スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）](#)
- ・ [スポーツ事故対応ハンドブック（フローチャート編）](#)

JSC配布資料

【問い合わせ】日本スポーツ振興センター学校安全部広島支所  
TEL : 082-511-2822 E-mail : anzen-hiroshima@jpnspport.go.jp